

日本小児感染症学会若手会員研修会第7回浜名湖セミナー

新企画

エキスパートに聞いてみよう

橋本浩一*

初めての今回は、「専門性を高める～専門への道のり～」というテーマで、教育・研究委員が胸襟を開き、TV番組ファミリーヒストリーに迫る迫力で、ご自身のこれまでたどられてきた「道のり」を話しました。あらかじめ、委員の先生方には、以下の質問項目について照会しました。

「感染症としての専門を目指すきっかけは？」

「専門を方向づけた、あるいは決定づけたことは？」

「専門性を磨くのに役立ったこと」

「専門分野において、これから成し遂げたいこと、夢、目標」

「若手へのメッセージ」

初めに、セミナーに参加できなかった先生方（森内先生、坂田先生、斉藤先生）のヒストリーが紹介され、続いてセミナー参加の笠井先生、田中先生、木村先生、多屋先生、成相先生、小田先生、堤先生、橋本がそれぞれ自身について話し、そして参加者からの質問へお答えしました。単純にロールモデルの紹介ではなく、今にたどり着いた（たどり着いてしまった）先生方の話には、通常の学会にはない、本セミナーならではのアットホームな雰囲気のなか、セミナー参加者が聞き入りました。どの先生にも若いときがありました。それぞれの思いがありました。きっと、セミナー参加者の胸にさまざまな形で響いたことでしょう。雰囲気を味わいたい方はぜひ、セミナーへの参加をお勧めします。セミナーのエッセンスとして「若手へのメッセージ」を紹介します。

★素晴らしい分野です！“出会い”を大切に、

“出会い”そして“人の輪”こそ人生の宝です。

★小児感染症を専門とすることに心からおめでとうのメッセージを送ります。

★あきらめず、後ろを振り返らず、今、自分にできることを精一杯努力してください。若いときにしかできないことが多く、若いときの苦労は生涯の糧になります。尊敬する指導医をみつけて、飛び込んで行ってください。

★エビデンスを調べ実践するだけでなく、エビデンスを作る人になってください。また、ある時期、自分で手を動かして研究すること（ベンチワーク）は貴重です。その後の臨床にも必ず役立つと思います。

★セミナーで皆さんたちが、これから先のキャリアのなかで声をかけ合い、相談し合ったり、力を合わせて何かを成し遂げていける仲間を見つけることができることを心から祈っています。

★人とのつながりのなかで、自分の道が決まっています。よい指導者、仲間と出会えることを願っています。

★現在の自分は過去と未来をつないでいます。ポジティブシンキングで、一步一步前進しましょう。

★いわれて動くのではなく、自分が興味をもって時が経つのも、莫大なエネルギーを要することも忘れて没頭できるようなテーマと巡り合うこと、そうなるように何でもまずかかってみることが最初は大事なかなと思います。

* 福島県立医科大学医学部小児科学講座

★よく聞け，金を残して死ぬ者は下だ．仕事を残して死ぬ者は中だ．人を残して死ぬ者は上だ．よく覚えておけ（後藤新平の言葉）．

★夢をかなえるためにはhard workをすることが大切です．Hard workはつらいです．ですので，同じ夢をもつ仲間を作りましょう．

* * *